

## キ 京街道と京の七口に見る歴史的風致

このように、京都における街道沿いの地域は、寺社などの歴史的建造物を中心に、祭礼行事をはじめとして、地域特有の伝統的な人々の活動が現在まで受け継がれ、町並みや、山、川といった自然環境と一体となって、地域特有の歴史的風情を醸し出している。

それぞれの街道は京から全国に通じる道であったことから、これらの地域における人々の営みはこれまでに述べてきたように京の文化や京の人々の生活とも繋がりがあり、そこで営まれる人々の営みは京とともに歩んできた往時の姿を今に伝えている。

### (4) 山や野にみる歴史的風致

三方を山々に囲まれている京都は、これらの山々やその裾野、そして平野部などにおける営みと関わりながら、発展を遂げてきた。

この項では、京都の山や野で営まれる生業を具体事例として、これらの山や野における歴史的風致を示していく。

#### ア 京都の三方の山々



図2-74 京都の山

京都は三方の山々に川筋のある特長的な風土を有しており、このような風土が生み出す盆地景は、先人達が原風景として捉えてきた歴史的風致の基盤と

も言うべきものである。また、この三山は、古くから信仰の山でもあり、自然を大切にする精神を培ってきた。

北部の山地は北山と呼ばれ、市域の最高峰である皆子山、峰床山、三国岳といった900m台の頂とその前面に標高400から600mの山々が連なっている。

東部の東山は、比良山系の南に続く比叡山を最高峰として始まり、稲荷山で終わる「東山三十六峰」が横たわるが、大文字山から音羽山・醍醐山へ続く尾根も東山山地を形づくっている。

西部の西山は、愛宕山から標高400から600mの山並みが保津川を挟んでポンポン山に続いている。

また、中山間地域は、山林、農地、民家群がセットになった美しい農山村集落の風景がみられるのも京都の特長である。



写真2-126 山の風景

### イ 具体事例

#### (7) 生業の野：京野菜



図2-75 すぐき菜の代表的な生産地（上賀茂）

京都は海から遠く、海産物の運搬は難しい。このため、当時、世界でも有数の大都市であった平安京では、食生活を保つために野菜づくりが重要